

貨物ダメージ情報管理ソリューション damage tracer

貨物のダメージ情報管理に手間がかかっていませんか？

“いつ” “どんなダメージが発生していたか”の管理は
自社に責任がないことを証明するために非常に重要です

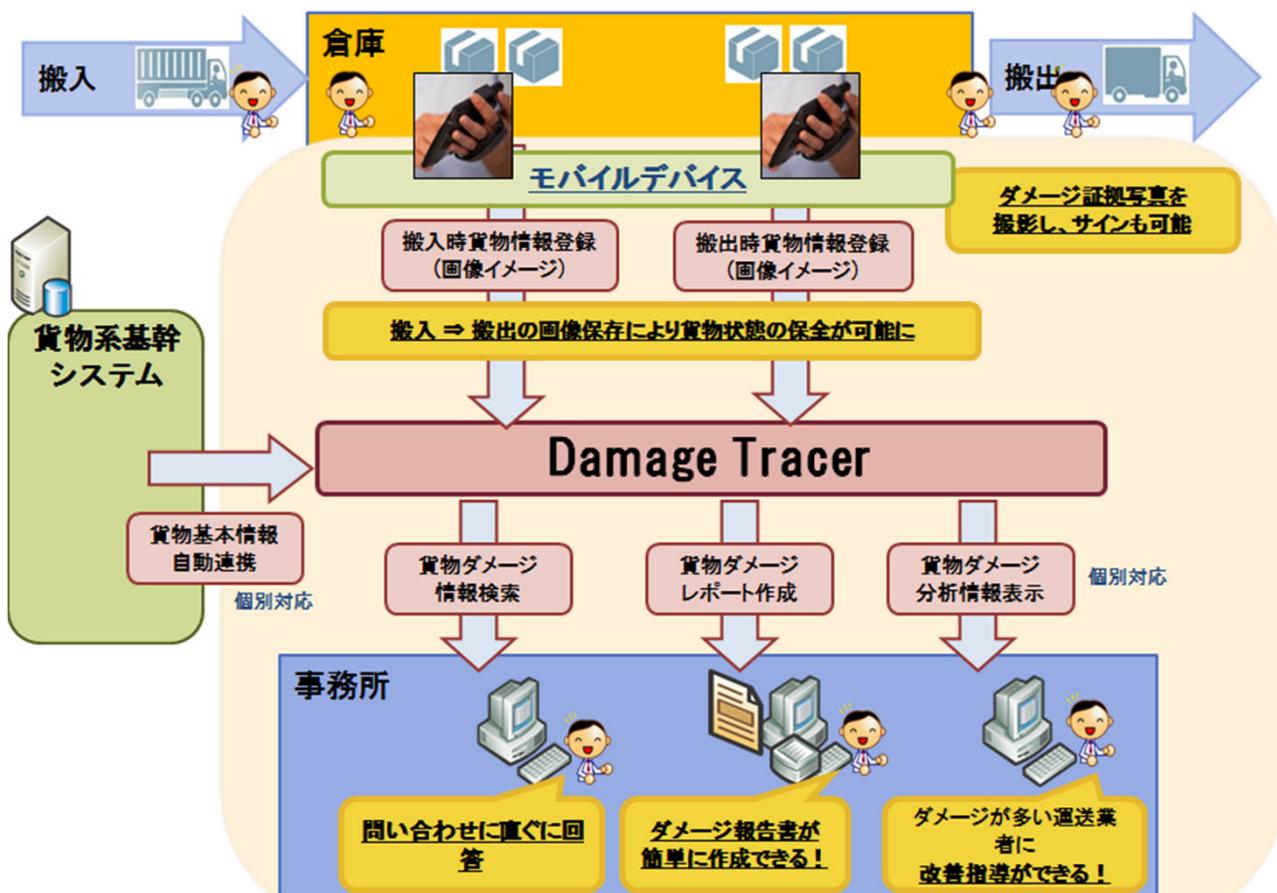
しかし手作業で管理精度を向上することは非常に手間がかかります

**ダメージ情報管理のシステム化で
“管理の手間軽減” “管理精度の向上” を実現します**

貨物ダメージ情報管理ソリューション

- ① デジタルカメラでの写真撮影と個別管理作業を**自動化**！
- ② 膨大なイメージデータから当該写真の**検索の高速化**！
- ③ その他、確認業者のサイン、ダメージ詳細情報、レポート等との**情報連携**！

貨物ダメージ情報管理ソリューションの目指す姿



▶ 貨物ダメージ情報管理ソリューションの特長

貨物ダメージ情報管理システムは貨物現場のカメラ機能付きモバイルデバイス（タブレット端末）でダメージ画像を撮影し、ダメージ情報と貨物を特定するキー情報を共に管理するシステムです。既にご利用中のカメラ機能付きモバイルデバイスを利用することも可能です。

● カメラ機能付きモバイルデバイスの優位性

従来デジタルカメラ画像撮影を行っていた場合は、現場から事務所に帰り、事務所のPCでキーを付与しながら画像格納を行っていました。本製品では、現場で現物の写真撮影を行い、現場でキー情報の付与が可能となっており、情物一致が可能です。さらにキー情報の入力にはキー情報のサジェスチョン機能も実装しており、現場でのキー情報付与の手間の削減が可能です。

● 貨物ダメージレポート機能

貨物レポートの作成機能をサポート。ダメージ画像を貼り付けたレポートの作成が可能です。

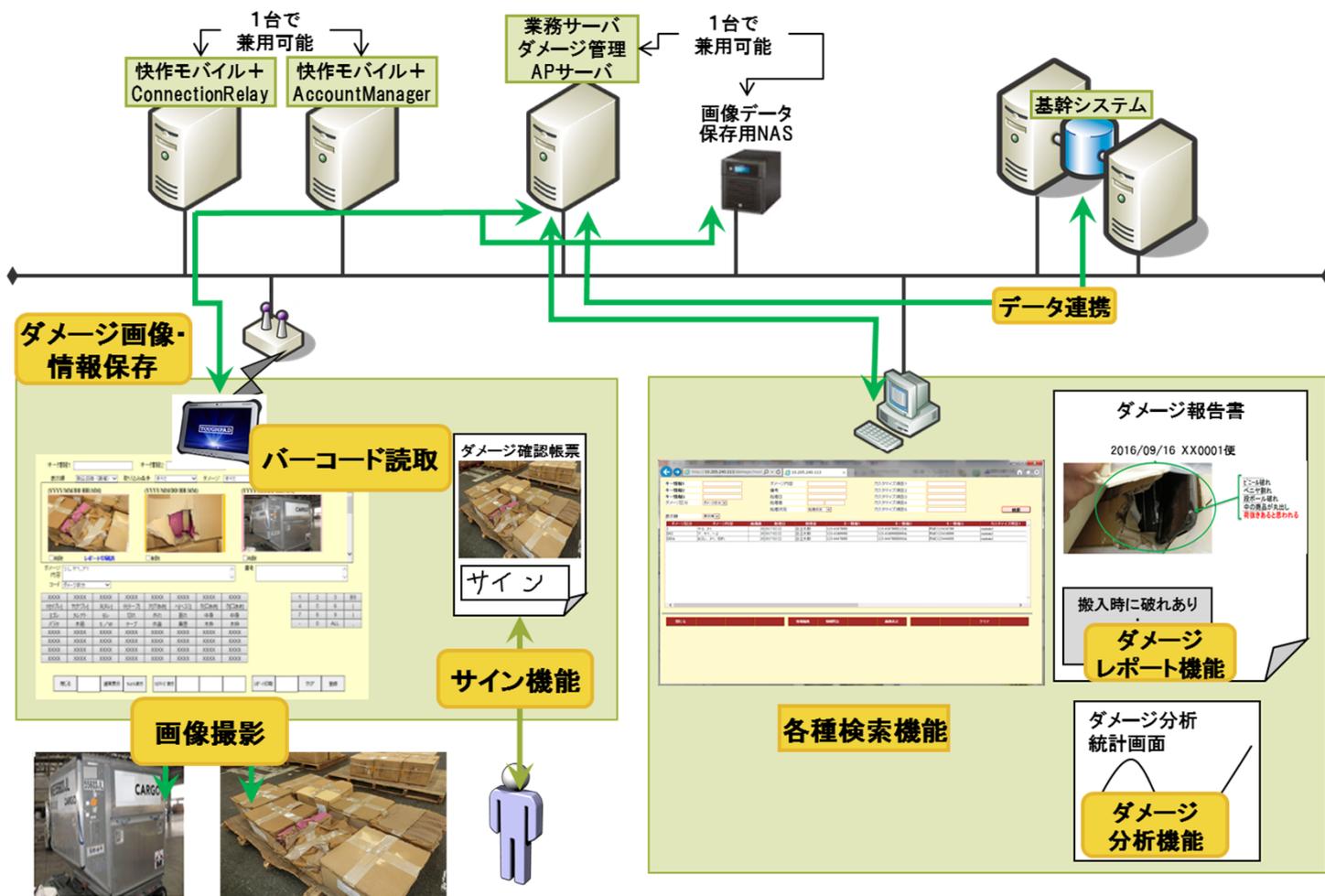
● サイン機能

貨物のダメージ画像を確認し、搬入者・受取者の手書きサインが可能です。

（貨物のダメージ画像と共に管理できます。）
オプションのモバイルプリンタがあれば、貨物受渡し現場でサインを行ったダメージ確認帳票の印刷が可能です。

● 貨物ダメージ分析機能（オプション）

基幹システムとの情報連携により貨物属性（発地、経由地運送会社等）とダメージ情報（ダメージ種別、ダメージレベル）を組み合わせた分析が可能で、画像と組み合わせるとダメージ抑止のための分析データの抽出が可能です。



※本製品は当社「快速モバイル+」を利用した製品となります。
※製品価格に関しては個別お問い合わせ下さい。

商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談受付

電話による受付

☎ 0120-954-536

受付時間 10:00~17:30 月曜日~金曜日（祝日、当社休業日を除く）

メールによる受付

hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com

※ご相談、ご依頼いただいた内容は、回答等のため、当社の親会社（株式会社日立ソリューションズ）、親会社の関連会社及び株式会社日立製作所に提供（共同利用も含む）することがあります。取り扱いには充分注意し、お客様の許可なく他の目的に使用することはありません。

※製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合がございます。
※最新情報は、当社ホームページをご参照ください。
※本カタログの内容は、2017年8月現在のものです。

HSC201708

◎ 株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

<http://www.hitachi-solutions-create.co.jp/>